

平成25年度の取組み

■食生活改善のための意識向上に向けた方策の検討

- ①子どもの『望ましい体格を知るためのリーフレット』の配布と評価
- ②20～30歳代の男性の欠食に対する意識向上のための啓発活動

■BMIの普及啓発

- ③リーフレット配布やBMIメジャーを利用した、知識の普及啓発

■食に関する知識の普及

- ④高齢者の低栄養に対する意識向上のための啓発活動

取組み進捗状況

①子どもの『望ましい体格を知るためのリーフレット』の配布と評価

4月：小学5年・中学1年生に配布。

5～6月：各小・中学校1クラスずつと全担任へアンケート実施。

＜子ども向けアンケート結果＞

1か月間リーフレットを覚えていた割合が高く、日常生活意識の改善もみられ、配布による『意識づけのきっかけとする』目的は達せられていると考えられる。しかしダイエットを希望する項目については、配布前後で大きな意識変化は見られなかった。

＜担任向けアンケート結果＞

小学校59%、中学校53.5%の先生が生徒へ健康の重要性などの声かけをされ、子どもたちもしっかり見聞きしていたとのこと。リーフレット配布を2年続け、先生方の理解も得られてきた様で、配布の継続希望、配布のタイミングや方法について様々なご意見をいただいた。

⇒**根強い意識・行動を望ましいものに改善していくためには、配布以外の方法も合わせて実施できると効果的ではないか。**より活用頂ける工夫を、現場とすりあわせていきたい。

②20～30歳代の男性の欠食に対する意識向上のための啓発活動

…7月：食品衛生組合の講習会時 10月：商工会議所主催の健康診断にて朝食摂取を勧めるチラシ配布。

③リーフレット配布やBMIメジャーを利用した、知識の普及啓発

産業フェスタ・農業祭・地区健康まつり等で配布、説明。家族単位での意識向上に活用。

④高齢者の低栄養に対する意識向上のための啓発活動

医師会・歯科医師会・薬剤師会を通じ患者・利用者さんへ配布予定。

ご意見・ご教示いただきたい内容

・H25年度までに『妊婦…親子健康手帳、学童～高齢期…リーフレット作成配布』という方法で、各年代へのアプローチを推進してまいりました。今後はより広く、継続的に活用していただけるような他機関への働きかけが重要と考えております。

また、個人での取り組みばかりでなく、環境を整えていくことも重要です。(例)栄養成分表示や栄養・食に関する情報がお店で見れ、活用できる。栄養バランスや減塩など考慮したヘルシーメニューを会社の食堂や一般飲食店で食べることが出来る等。栄養・食生活について、あるとよいなと感じるサービスや情報、どこで受けられるとよいか等、アイデアがあればお聞かせください。

